

新しい国立市のまちづくりを考える
市民ワークショップ
「市への提言」

平成26年11月
市民ワークショップ参加メンバー一同



新しい国立市のまちづくりを考える市民ワークショップ


「市への提言」 目次

市民ワークショップの概要

1. 市民ワークショップの目的	3
2. 参加メンバーの構成	4
3. 検討の経過	6
4. 提言の具体化に向けて	7

各グループからの「市への提言」

1. 健康・福祉グループ	8
2. 子育て・教育グループ	13
3. 生涯学習・文化・産業グループ	19
4. 防災・防犯・地域コミュニティグループ	22
5. 都市基盤グループ	29
6. 環境グループ	36



～ 新しい国立市のまちづくりを考える～
市民ワークショップ

・ 市民ワークショップの概要

1. 市民ワークショップの目的

(1) 実施目的

- ◆ 「新しい国立市のまちづくりを考える 市民ワークショップ」は、平成28年度から概ね10年間を計画期間とする次期総合基本計画の策定にあたっての重要な基礎資料とするため、市民の視点から、将来のまちづくりのあり方（テーマ別の強み・弱み、推進すべき基本的取組など）を検討することを目的としています。

(2) 実施方法

- ◆ 市民の視点から、各行政分野に沿った強み・弱みの洗い出しと、強みを伸ばし・弱みを改善するためのアイデアなどを検討する手法として、“ワークショップ”の手法を取り入れました。
- ◆ 検討した結果は「市への提言」としてとりまとめ、市長に対して参加メンバー自身が発表・提出します。

ワークショップとは・・・参加メンバーがまちづくりや計画策定という共通目標の達成に向けて課題や情報を共有し、お互いの立場や多様な意見を尊重・理解し合いながら交流することにより、解決策や提案をまとめていくという参加・体験型の検討作業の場です。

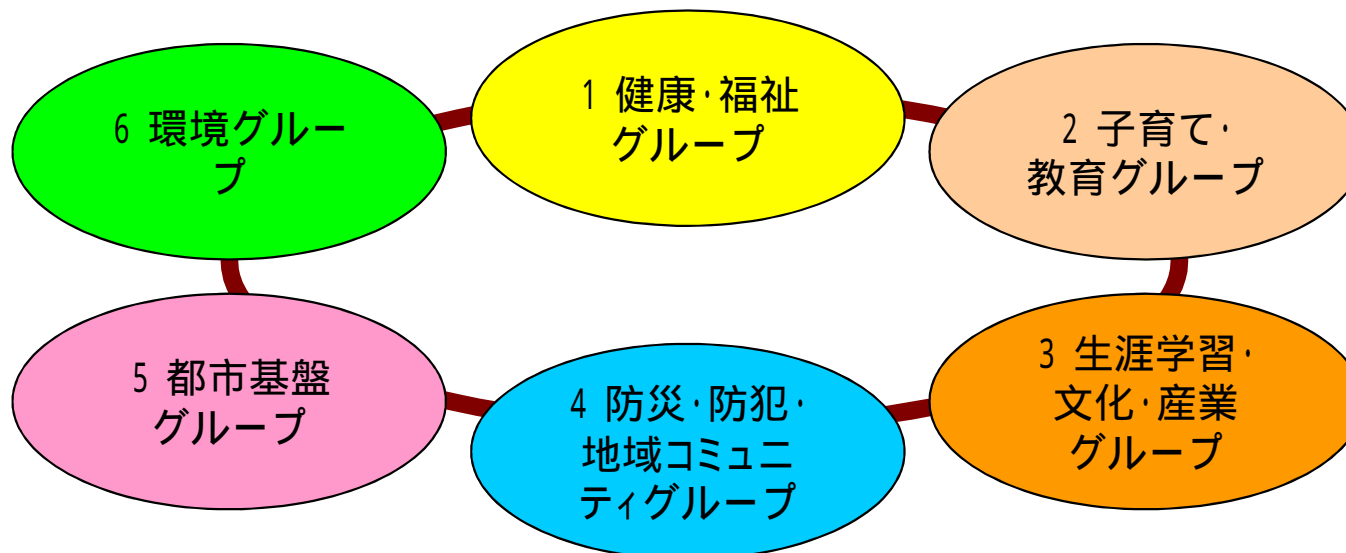
2. 参加メンバーの構成 (1 / 2)

(1) 参加メンバーの選出方法

- ◆ 参加メンバーは、市在住の満18歳以上の方から無作為で2,500名を抽出して応募を呼びかけ、回答を頂いた32名にて構成されています。
- ◆ 事務局として市の職員が、各グループの検討の進行をサポートしました。

(2) 検討テーマの構成

- ◆ 参加メンバー全員が均等に発言できる機会を確保し、かつ活発な話し合いが行えるよう、各自の「関心のある行政分野」に基づき、6つのグループに分かれ検討を行いました。



2. 参加メンバーの構成 (2 / 2)

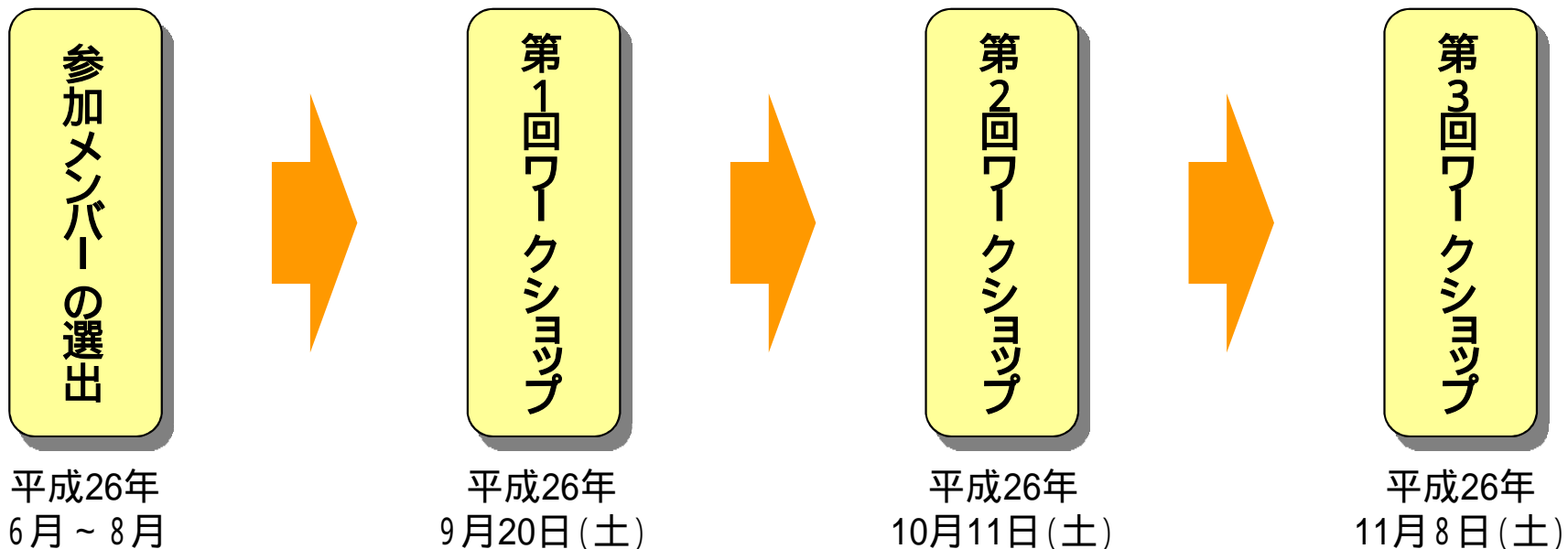
(3) 検討テーマごとのメンバー構成

グループ	検討テーマ	人数	メンバー構成
1 健康・福祉グループ	健康づくり、福祉	4名	熊本さん、大岡さん、青山さん、中間さん、（進行役：伊形）
2 子育て・教育グループ	子育て支援、学校教育	5名	野村さん、土屋さん、清田さん、吉岡さん、不動田さん、（山崎）
3 生涯学習・文化・産業グループ	生涯学習、歴史・文化・スポーツ、商工業、観光、農業	5名	清水さん、大林さん、観音さん、平松さん、平野さん、（村上）
4 防災・防犯・地域コミュニティグループ	防災、防犯、地域コミュニティ、市民協働	6名	山本さん、岸岡さん、野道さん、菊池さん、笠原知子さん、大川さん、（立花）
5 都市基盤グループ	交通、市街地整備、景観、道路	7名	長谷部さん、伊藤さん、野田さん、石井さん、三橋さん、小澤さん、近藤さん、（安波）
6 環境グループ	環境、ごみ処理	5名	笠原敏彦さん、曾我部さん、井崎さん、中川さん、柳澤さん、（當舎）

3. 検討の経過

(1) 市民ワークショップの検討経過

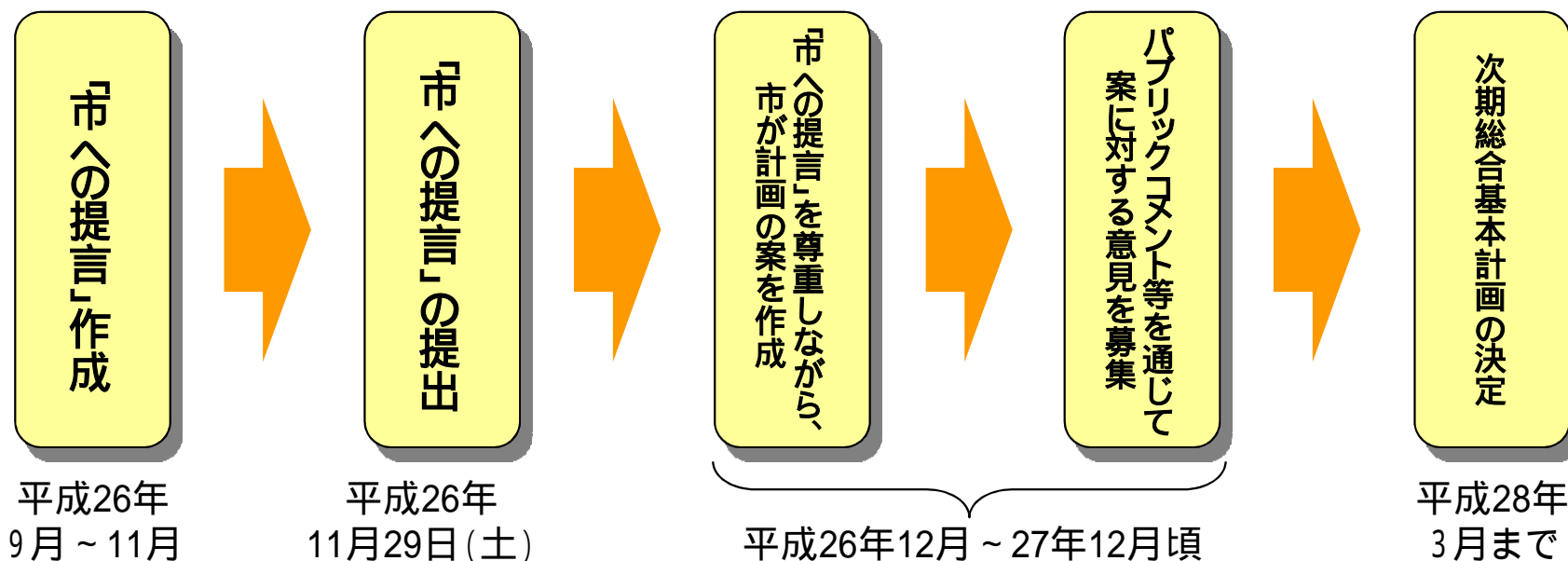
- ◆ 第1回ワークショップでは各テーマにおける「国立市の強み・弱み」を洗い出し、第2回ワークショップでは「強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組」の検討を行いました。
- ◆ 第3回のワークショップでは「市への提言」のとりまとめを行い、11月29日に各グループの代表者が市長に対して発表します。



4. 提言の具体化に向けて

(1) 提言の具体化に向けた今後の検討

- ◆ 次期総合基本計画は、概ね平成28年3月までに正式に決定される予定ですが、その過程では今回の「市への提言」をはじめ、様々な方法で募った市民の意見を最大限に尊重するよう努めます。
- ◆ 「市への提言」を今後の検討における重要な基礎資料の1つとし、今後、市が責任を持って次期総合基本計画の策定を行います。



新しい国立市のまちづくりを考える 市民ワークショップ

・各グループからの「市への提言」

- 1 健康・福祉グループ
- 2 子育て・教育グループ
- 3 生涯学習・文化・産業グループ
- 4 防災・防犯・地域コミュニティグループ
- 5 都市基盤グループ
- 6 環境グループ



1. 健康・福祉グループ

【主な強み(良いところ, 伸ばしたいところ, 好きなところ)】

かかりつけ医に該当する個人病院が多い

デイサービスの事業所が多い

認知症サポーターの育成に取り組んでいる

【主な弱み(悪いところ, 改善したいところ, 気になるところ)】

大きな病院がない

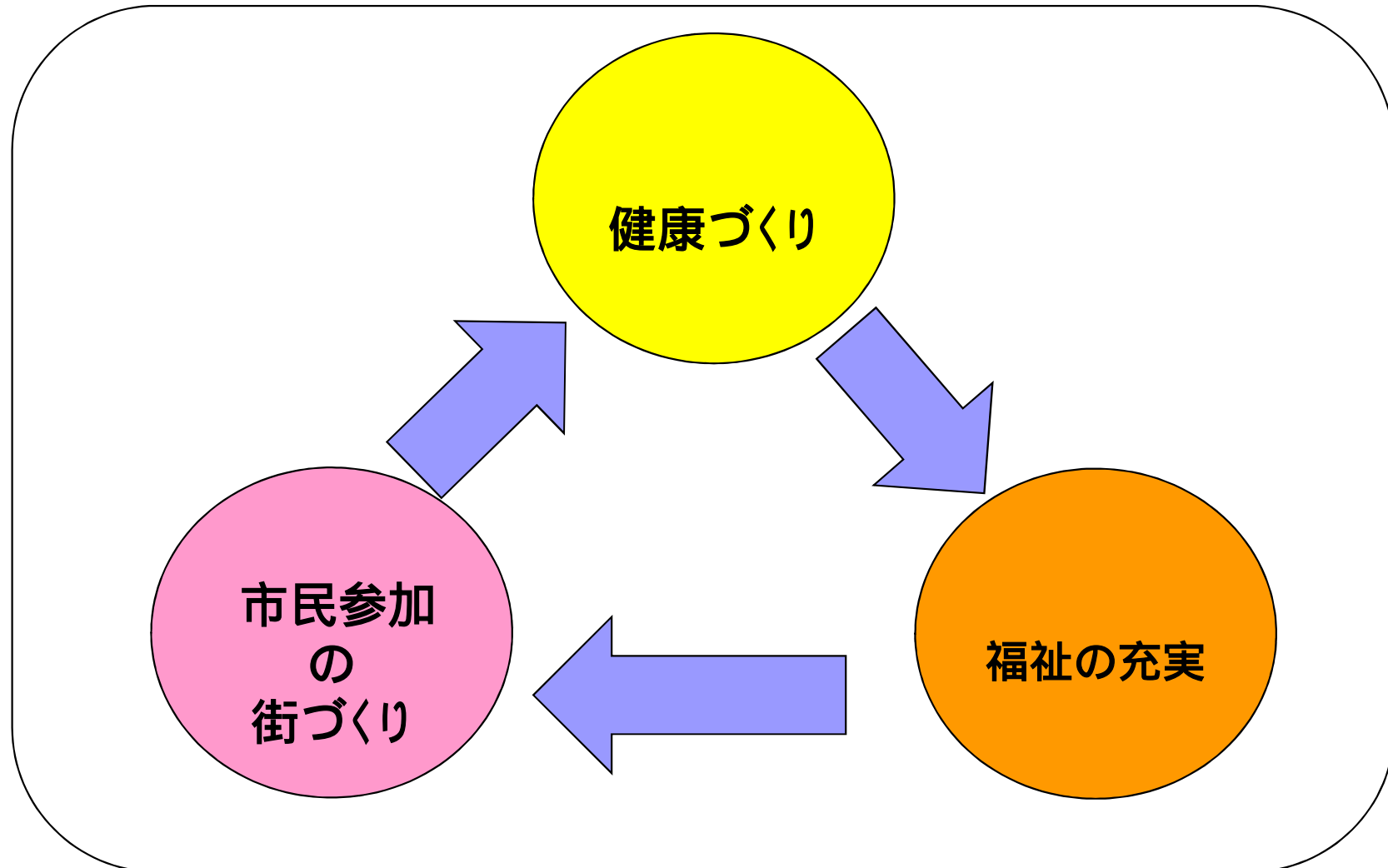
市内にあるデイサービスの事業内容が不明

福祉事業所間での(デイケア・デイサービス)ネットワークが弱い



目玉の取組み

● くにたち健康づくりサイクル



【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(1 / 3)】

【健康づくり】

(1) 疾病予防対策の充実

- ◆ 年代別の健康予防プログラムを作成し、それを管理する組織をつくる
- ◆ 年1回健康診断を実施し、その内容を高度化する
- ◆ シニア層の健康診断時にアミロイドβを測る

(2) 年代に応じた健康づくりの強化

- ◆ 各年代に必要な情報を共有できるよう、各年代(シニア層・壮年層・幼年層)が話せる場所をつくる
- ◆ 1～6歳児の栄養管理を催すため、1～6歳児のための栄養指導をする
- ◆ 壮年層の食事に対する意識の向上のため、栄養士と協力し、食事会などで塩分濃度等を測る
- ◆ シニア層の方の集合の機会を増やすため、魅力ある健康増進プログラムを策定する
- ◆ シニア層の健康増進のため、シニア層が主体となるNPOをつくる
- ◆ 健康増進・家族のふれあいのため、近隣の町(立川・府中)などの体育施設を共有する

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(2 / 3)】

【福祉の充実】

(3) 認知症(若年性含む)の方への対応強化

- ◆ 認知症を有する方の数を市報やホームページにて市民で共有する
- ◆ 「認知症かも」と本人や家族が思った時に相談できる医療機関を共有する
- ◆ 認知症の方のための介護指導(専門家でなくともできるもの)をする
- ◆ 認知症の方のための介護者を市が中心となり育てる
- ◆ 認知症を発症している方のために、市民が参加する市民健康増進組織(NPO)をつくる
- ◆ 認知症で徘徊する方の安全を確保するため、市内の商店や警察との連携を強化するとともに、小・中学校に「認知症サポーター授業」を出前授業し、より多くの目で安全が確保できるようにする

(4) 福祉ネットワークの充実

- ◆ 要支援者・要介護者が適切なケアサービスを受けられるよう、国立市内の介護施設の数、名称、機能等を市民で共有する
- ◆ 市内の福祉施設と医療施設との連携強化を図るとともに、市が設置する地域包括支援センターを拠点にケアマネジメントを行う

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(3 / 3)】

【市民が役割を持てる街づくり】

- ◆ 高齢者の知識や経験の継承、老後の楽しみのため、空家を改築し、憩いと交流の場とする
- ◆ 高齢者主体による飲食店等を市が運営する
- ◆ 市全体のブランド・イメージづくりのため、「福祉・景観・文教の町国立」をキャッチフレーズにする
- ◆ 車椅子の方でもより行動しやすくするため、歩道を広く(特に郵政大学の北東、北側)し、バリアフリー化する
- ◆ 国立の農業を発展させるため、市内のレストランと提携し、市内産の食材を活用する
- ◆ 癒しの景観保持のため、5階以上のマンション建築を制限する

新しい国立市のまちづくりを考える 市民ワークショップ

・各グループからの「市への提言」

- 1 健康・福祉グループ
- 2 子育て・教育グループ
- 3 生涯学習・文化・産業グループ
- 4 防災・防犯・地域コミュニティグループ
- 5 都市基盤グループ
- 6 環境グループ



2. 子育て・教育グループ

【主な強み(良いところ, 伸ばしたいところ, 好きなところ)】

子どもを連れていくと、地域の方々が気軽に声をかけてくれるなど、大人たちの子育てへの関心が高い

子どもだけで安心して地域で遊べる

自然が多く残されており、子どもが緑の中で遊べる

【主な弱み(悪いところ, 改善したいところ, 気になるところ)】

子育てに関する情報について、転入者への案内が少ない

子どもたちの遊び場が少ない

小学校同士の交流が少ない



【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(1 / 3)】

【子育て支援】

(1) 子育て世帯に対する支援の充実

- ◆ 働く女性を支えるため、安価で利用できるヘルパーの制度に利用料を補助したり、放課後キッズの活動日や活動時間を拡大する
- ◆ 子どもを産みやすくするため、2人目以降の教育(幼児教育・幼稚園)を無料にする
- ◆ 子育て中の保護者がママ(パパ)目線で、情報誌やホームページを作成したり、子育てマップの配布を行う
- ◆ 子育てに関する情報(イベントや設備など)を広報するため、市民からの口コミ掲示板をネット上に開設する

(2) 遊び場の充実

- ◆ 休日や雨天の時に子どもが遊べる広い場所を確保するため、各小・中学校の体育館や公民館等の公共施設で使用できそうな場所がないか検討する
- ◆ 子ども連れで行きやすい飲食店を増やすため、親子カフェ(例:八王子市のキドキド)を誘致する

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(2 / 3)】

【子育て支援(続き)】

(3) 交通の安全確保

- ◆ 交番の位置やピーポ君の家などが記された子ども用の地図を作成し、配布する
- ◆ 街灯を増やしたり、防犯カメラを設置するなどの防犯対策を講じる
- ◆ 子どもたちへの交通安全教育や、登下校時間に見守りをする地域ボランティアを募集する

(4) 子育て世帯の転入促進

- ◆ 教育面で良い実績があるという長所を市外へPRする
- ◆ 子どもに優しいイベントやコンサートなどを開催し、市外にもPRする

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(3 / 3)】

【教育】

(5) 学校教育の充実

- ◆ 英語スピーチや数学コンテスト、理科実験大会を市内の各小・中学校が合同で開催する
- ◆ 少人数クラス化したり、保護者や大学生を積極的に呼び込み、第2教員として学校教育のサポーターを増やす

(6) より幅広く学べる機会の充実

- ◆ 各家庭の希望者、市内の全学年と一緒に農業体験できる田畑の開放や貸出を行う
- ◆ 子どもたちが自然の中で遊べる機会を増やすため、知識を持つ方々(例: ボーイスカウトや農家)からの協力を募ったり、活動場所やイベントの告知を積極的に行う
- ◆ 近隣市と共同の体育会やスポーツ大会、陸上記録会等を実施し、学区を超えた子どもたちの交流の機会を設ける
- ◆ 受験勉強の支援を塾と共同で実施する

【提言の方向性】 国立市が発展していくために…

- 未来を担う子どもたちを育てている世代、若い世代の増加が望まれるのではないか。

転入者に国立市を魅力ある街だと思ってもらう

いま住んでいる市民にとってより住みよい街になる

これら2つのねらいを達成するための取り組みは市の発展の両輪として成立するのでは？

〇〇

国立市の良いイメージ

治安が良い

緑が多く環境が良い

教育の街

等々

しかし、イメージで止まっていないか？

イメージを具現化する制度やサービスが必要だ。

【特に重要と考える4つの取組(1 / 2)】

【子育て支援】

子育て世帯を支えるため、**シルバー人材センター等の安価で利用できるヘルパー制度の利用料を補助したり、放課後キッズの活動日や活動時間を拡大する。**

子育て情報を効果的に広報するため、**ホームページに年齢や、困り事等のカテゴリーを用意して見やすく工夫するとともに、市民のクチコミ掲示板やQ&Aを開設し情報共有しやすくする。**

【特に重要と考える4つの取組(2/2)】

【教育】

未就学児への教育活動

休日、雨天時の遊び場として小・中学校の体育館や公民館、市が管理する田畑等の公共施設を活用する。さらにボーイスカウトや農家等のように専門の知識を持つ方に協力を募ってイベントを開催する。

就学児・生徒への教育の充実

市内の小・中学校合同で英語スピーチや数学コンテスト、理科実験大会を行う。企画運営を保護者や大学生、住民らとともに地域に開かれた形で開催する。

【くらしに役立つ制度やサービスになるように】

市行政のみで取り組みを完結させずに…

地域住民

子育て現役世代の
パパ・ママ

国立市をより住みよく魅力的な
街にする取り組み

学校が多いという特色を活かして
大学生や留学生たちも

さまざまな人々を積極的にまきこんで連携・協働する。

新しい国立市のまちづくりを考える 市民ワークショップ

・各グループからの「市への提言」

- 1 健康・福祉グループ
- 2 子育て・教育グループ
- 3 生涯学習・文化・産業グループ
- 4 防災・防犯・地域コミュニティグループ
- 5 都市基盤グループ
- 6 環境グループ

3. 生涯学習・文化・産業グループ

【主な強み(良いところ, 伸ばしたいところ, 好きなところ)】

市内に文化人(芸術家や小説家など)が多く、「国立=文化」というイメージなど、国立に対する好感度が高い

北部の大学まちと、南部の緑豊かな風景と、南北で違った魅力がある

官・民の生涯学習施設が多く、市民の活動も盛んである

【主な弱み(悪いところ, 改善したいところ, 気になるところ)】

プロ・アマ問わず、芸術・文化の発表の場が少ない

芸術・文化・農業・商業・観光などの点で、市からの情報発信力が弱い

住んでいる人がまち歩きをして楽しんだり、人と人のつながりを持てるようなイベントが少ない

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(1 / 4)】

【歴史・文化】

(1) 国立の文化振興

- ◆ 国立在住のクリエイターを中心にしたイベント(オープンスタジオなど)を開催する
- ◆ 文化活動を周知・発信するために、オープンアトリエや見学会を実施する
- ★ 芸術ホールなどを活用して、プロ・アマ問わず参加できる市民文化祭を開催する
目玉の取組み
- ★ 市役所に文化部を設置し、国立在住の芸術家の活動をインターネットで情報発信する
目玉の取組み
- ◆ 芸術家の活動の場を設けるため、空き家を利用した貸しアトリエ事業を実施する
- ◆ 「(仮)国立の芸術家」という本を出版する

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(2 / 4)】

(2) 国立の歴史の発信

- ◆ 国立の歴史をより知るため、郷土文化館の展示内容を大幅に見直し、国立の都市計画のことをより正確に伝えられるようにする
- ◆ 「国立の語り部」を増やし、国立の文化振興、博物館化をするため、市民のだけれどもが、国立の歴史・文化を語るができるよう、市民総学芸員活動を推進する

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(3 / 4)】

【観光】

(1) 国立の魅力再発見、発信

- ◆ 国立の魅力再発見、発信のため、多様な視点で面白いスポットを捉え、「まち歩き」を企画し、周知する
- ◆ 国立の土地や人をより詳しく、丁寧に取材するフリーペーパー(冊子)をつくり、また、そのような情報をインターネットで発信する
- ★ 美術館・ギャラリーマップとインフォメーション掲示板を国立駅前ほか、市内に設置する 目玉の取組み
- ◆ 国立駅に、国立の歴史(近代)がわかる説明文パネルを設置する

(2) 国立を訪れる人を増やす

- ◆ 観光、集客につながるような、歴史、文化、権威等の振興のイベント(マラソン、ウォーキング、ウォッチング)を開催する
- ◆ 四季折々の特徴ある景観を市外の人々にアピールするため、写真入りのパンフレットを配布する
- ◆ 市内散策をより楽しくするため、貸し自転車システムを導入する

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(4 / 4)】

【商業】

(1) 大学通り、商店街の活性化

- ◆ 大学通りを活性化(魅力化)、グレードアップをするため、商店街の南側への延伸や店舗デザインの質的向上に取り組む
- ◆ 若者達の意欲を高められるよう、市内の各ショップにおいてインターネットによる情報配信を活用する
- ◆ 甲州街道沿いの商業利用を推進する

【農業】

(1) 農業振興と地産地消

- ★ 国立市内で作られた野菜や、その他の新鮮で安全な食材が買える場所を増やす 目玉の取組み
- ◆ 農業の振興と理解のため、市民が参加できる田植え等の体験学習を促進する

新しい国立市のまちづくりを考える 市民ワークショップ

各グループからの「市への提言」

- 1 健康・福祉グループ
- 2 子育て・教育グループ
- 3 生涯学習・文化・産業グループ
- 4 防災・防犯・地域コミュニティグループ
- 5 都市基盤グループ
- 6 環境グループ



4 . 防災・防犯・地域コミュニティグループ

【主な強み(良いところ, 伸ばしたいところ, 好きなところ)】

他地域に比べて治安が良い

小学校単位で避難所運営マニュアルがある

お祭りなどのコミュニティのイベントが多く開催されている

【主な弱み(悪いところ,改善したいところ、気になるところ)】

住民同士のつながりが希薄になってきた

防災訓練の参加者が少ない

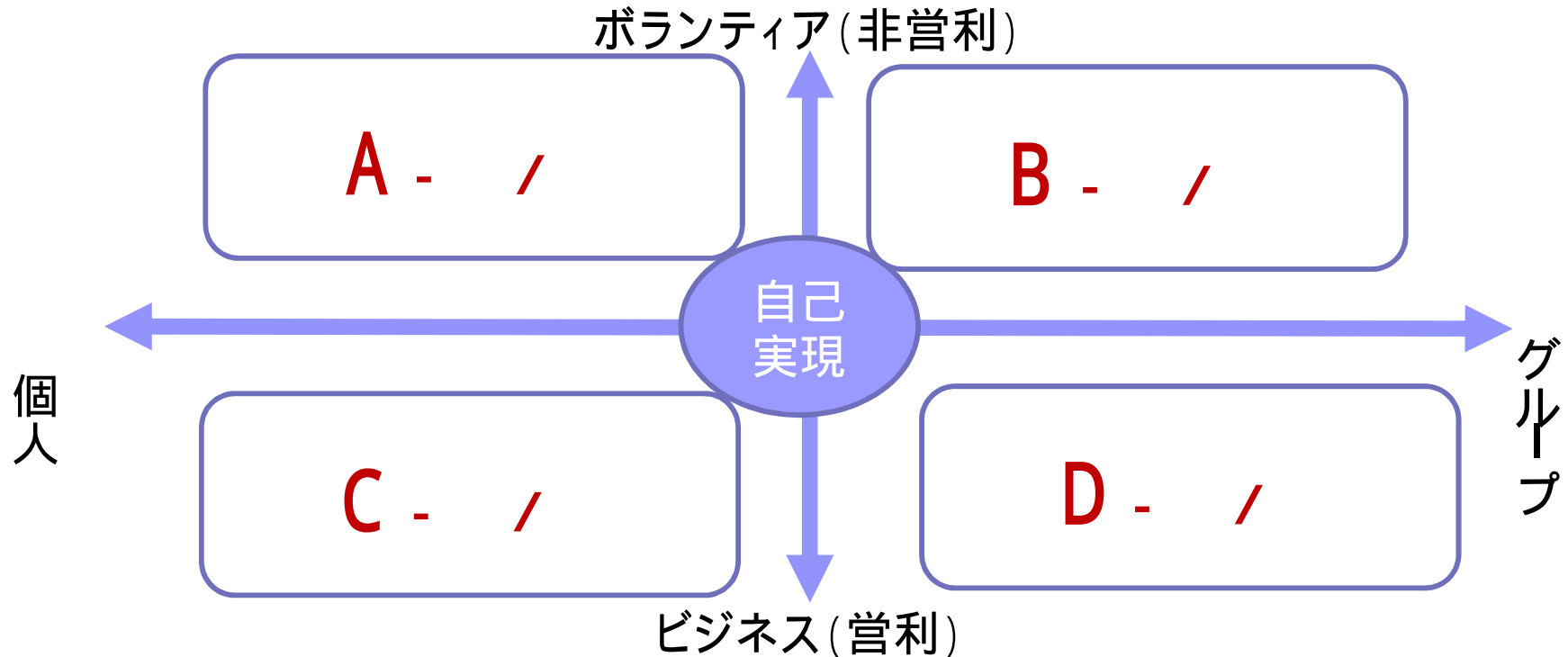
定年退職した人の居場所がない

空き家・空き地が増えた



目的

だれもが安心して暮らせる犯罪のないまちをつくるため
住民同志が仲良く助け合いながら豊かに自己実現できるまちをつくるため
若者や子育て世代が引っ越して安心して暮らしたくなる楽しいまちをつくるため
様々な世代が助け合い、文教都市のブランド力をもったまちをつくるため 他



進め方

各自の取組みがどのカテゴリーに該当するかを考え、推進者が明確で、市民が自分たちで自発的にできる取組と、推進者が不明確で、市民だけでは推進が難しい取組を洗い出す。

上記A～D、各々について、市や国にどのような対応を期待するかを洗い出す。
(市への提言へ)

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(1 / 10)】

【防災】

(1) 災害への備えの強化【その1】

- ◆ 避難所のバリアフリー化のため、市民が建物の状況を点検し、市は計画的な修繕を行う

目玉の取組

- ◆ 災害弱者が周囲に必要な助けを知らせることができるようになるため、ヘルプカードのフォーマットやリストバンド等を作成し普及啓発する

目玉の取組

- ◆ 防災訓練への参加を促すため、住民同士の連携を強化する

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(2 / 10)】

【防災】

(1) 災害への備えの強化【その2】

- ◆ 被災時にどのような助けを必要としているのかを知るため、テーマを決めて当事者が企画する防災訓練を実施する
- ◆ 立川断層地域に関連のある関東地方の自治体と広域的な防災計画を策定する
- ◆ 世帯ごとの住民の状況を把握し、独居老人の安否確認サービスや大学生とタイアップした消防団活動を推進する
- ◆ 災害時の避難経路の確保のため、ブロック塀の高さや強度の規制や点検を行う。

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(3 / 10)】

【防犯】

(2)地域の防犯力の向上【その1】

- ◆ 地域コミュニティを活用する
- ◆ 地域における防犯サービス(地域見守り・空き家ルームシェア)を促進する
- ◆ 地域の「目」を増やすため、地域の清掃を子どもの下校時間に行う等、日々の行動を見守りにつなげる。
- ◆ 外国人とともに犯罪予防を図るため、市や自治会等の代表者が外国人の代表者と定期的に意見交換を行う

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(4 / 10)】

【防犯】

(2)地域の防犯力の向上【その2】

- ◆ 子どもの安全を守るため、ピーポ君の家を増やす工夫をする
- ◆ 1年に2、3回主要な大通りや住民が選んだ地域を終日歩行者天国とし、住民の目が行き届くようにする
- ◆ 市の防犯ルール(ブロック塀の高さ規制等)や市民貢献制度を導入し、周知を徹底する
- ◆ 市民生活の安定(生活費の扶助等)による防犯対策を推進するため、他の自治体との合併を検討する

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(5 / 10)】

【地域コミュニティ】

(3)地域コミュニティの活性化【その1】

- ◆ コミュニティの「場」として空き家を活用するため、活用事例を事業化し市で支援する

目玉の取組

- ◆ お祭り等のイベントやNPO等を活用する
- ◆ 男性をターゲットとしたイベントを開催し、参加を要請をする
- ◆ 住民同士のつながりを少しでも強くするため、市民は近隣でのゆるいイベントを開催し、市はこれに対する助成やコーディネートを行う

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(6 / 10)】

【地域コミュニティ】

(3)地域コミュニティの活性化【その2】

- ◆ 学生や外国人を地域に呼び込み、新しい地域コミュニティを生み出すため、国立ホームステイサービス事業の実施や若者の地域イベントへの参加を促進する
- ◆ 地域に溶け込みやすいように、地域の「仕事」を用意する
- ◆ 市の事業としてコミュニティビジネス(共同農園・空き家シェア等)を推進する
- ◆ 高い住民意識を利用する
- ◆ 若者・子育て世代・高齢者等、興味や生活問題が類似する人達が交流できる場をつくる(バザーやインターネットの交流板等)

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(7 / 10)】

【地域コミュニティ】

(4)地域の人材活用【その1】

- ◆ リタイアした人の力を引き出すため、市がボランティアではなく対価のある仕事を用意する
- ◆ 学童保育の卒業生を対象に、定年退職世代を活用した放課後アフタースクールサービス事業を実施する
- ◆ リタイアした男性向けに、公の肩書きを用意する
- ◆ 市内の各種団体間の連携を強化するため、市民はSNS・ICTの人材発掘を行い、市はその活動を助成する

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(8 / 10)】

【地域コミュニティ】

(4)地域の人材活用【その2】

- ◆ 新たなビジネスモデルを創出するため、一橋大学や他のアカデミアの知恵を活用する
- ◆ 市民で力を合わせて税収減による地域行政サービスの低下を防ぐため、外部事業者に税金で依頼している仕事を公開し、段階的にNPO等を活用して移管する
- ◆ お金・ノウハウにより、やりたいことを実現できるスキームをつくる
- ◆ 気軽に活動を始められるようにするため、小さなチャンネルを多く用意したり、専門の窓口サービスを設置する

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(9 / 10)】

【その他】

(5) 空き家の活用

- ◆ 登録制度の設立・マッチングの支援を行う
- ◆ 男性高齢者等の「居場所」を創出するため、空き家等を利用する
- ◆ 団地の空き部屋の有効活用が防災・防犯にも結びつくようにするため、市や自治会とURとの意見交換会を行う
- ◆ 空き家の実態を把握するため、市が基礎調査を行う

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(10 / 10)】

【その他】

(6)その他

- ◆ 地域が若者や子育て世代から選ばれる都市になる
- ◆ 転入希望者向けに土曜日午前に市役所を開庁し、活用できるサービスを紹介する

新しい国立市のまちづくりを考える 市民ワークショップ

・各グループからの「市への提言」

- 1 健康・福祉グループ
- 2 子育て・教育グループ
- 3 生涯学習・文化・産業グループ
- 4 防災・防犯・地域コミュニティグループ
- 5 都市基盤グループ
- 6 環境グループ

5 . 都市基盤グループ

【主な強み(良いところ, 伸ばしたいところ, 好きなところ)】

個性のある小売店が多く存在している

市内に1年中富士山を見ることができる場所が多い

大学通り等の歩道が緑豊かでゆとりがある

【主な弱み(悪いところ, 改善したいところ, 気になるところ)】

バスが利用しにくい

有効な土地利用ができていない

電柱や建築物の色・形状等、良好な景観形成が図られていない

道路整備や歩道整備が不十分な場所がある

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(1 / 4)】

【交通】

(1) コミュニティバスの利便性向上

目玉の取組み

- ★ くにっこバスの利用料を利用しやすい金額にしたり、近隣の駅までしか行かないのではなく利用しやすい運行経路にする



(2) 放置自転車の解消

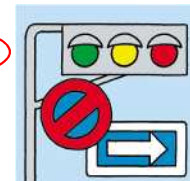
目玉の取組み

- ◆ JR中央線の高架下を自転車置き場とする
- ★ 散在している自転車を集約するために、立体駐輪場や地下駐輪場を増やす(地権者にとって収入となる仕組みを工夫する)
- ◆ 中央線の高架下の自転車置き場の位置や料金を見直して使いやすくする

(3) 交通マナーの向上

- ◆ 車の法定速度を守らせるため、国立独自の統一した看板を設置する(例えば、「くににゃん」キャラクターを活用して、語尾をかわいらしくするなど、運転者にもやさしく感じられるよう工夫する)
- ★ 国立市民であることに誇りを持つことにもつながるよう、国立ナンバープレートを導入する
- ◆ 歩道と自転車道のルール化を徹底する

目玉の取組み



【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(2 / 4)】

【市街地整備】

(4) 商店街の活性化

- ◆ 国立駅から西側へにぎわいを創出するため、国立駅西口を設置する
- ◆ 駅周辺の商店街の活性化及び景観保護のため、地下に駐車・駐輪場を含めた商店などで立体的に活用する
- ★ 個人商店の新規出店者に対する優遇措置(税控除、場所の提供)を導入する
- ◆ 個性ある小売店や専門店の誘致や奨励のルールを具体化する
- ★ 谷保地域に利便性の高い複合商業施設を誘致する
- ◆ 大学通りの駐輪スペースをなくし、別の場所に自転車置場を整備することによって、そのスペースを憩いの場や商店が進出できる場として活用する

目玉の取組み

目玉の取組み

(5) 緑豊かなまちづくりの推進

- ◆ 小・中学校のグラウンドを芝生化する
- ★ 開放された休憩スペースとして有効活用するため、大学通りの緑道と一橋大学の雑木林を一体化して公園にする



目玉の取組み

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(3 / 4)】

【景観】

(6)景観まちづくりの推進

目玉の取組み

- ★ 大学通り・富士見通り・旭通り・さくら通りの広告や看板の色・形状に知のまちに則したルールを設け、景観から熟成する
- ◆ 駅周辺及び大学通り沿いの建築物は、全て一橋大学と調和した外観とする
- ★ 市内の電柱・電線を地中化する
- ◆ 市で独自のガイドラインを作成し、これに適合した家屋(新築・改築)の建築に援助を行う(家の色・塀の有無・高さ・隣との境の配置等)
- ◆ 1年中富士山を眺められるようにするため、富士山を見ることができるポイントを明確にし、ガイドマップを作成しPRする
- ★ 大学通りや富士見通り、旭通りにごみ箱を設置することにより、ごみがない街並みの景観形成を促す

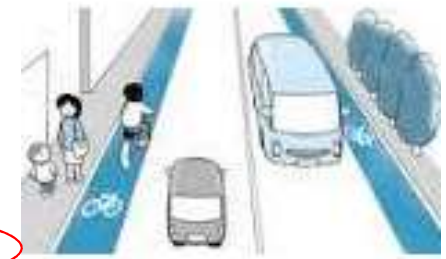
目玉の取組み

目玉の取組み

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(4 / 4)】

【道路】

(7) 歩行者・自転車通行の円滑化



- ◆ 市内の自転車道を再整備する

目玉の取組み

- ★ 自転車通行レーンがない他の主要な道路にも、さくら通りのように通行レーンを設置する

- ◆ 国立駅前のバスの停車場に乗客が並ぶことによって歩道が通行できない箇所があるので、乗降場としてゆとりあるスペースを設ける

- ◆ 国立駅のロータリーに一般車の送迎する際の一時駐車スペースを設ける

- ◆ 商店街をより活気ある場所にするため、店舗を利用しやすいように歩道の幅を広くする

- ★ 市内の散策をより快適なものにするため、休憩できるベンチを増やす(ネームプレート特典付きの寄付を募る)

目玉の取組み

(8) 道路マネジメントの推進

- ★ 新設道路によって変化する自動車の交通量に対応するため、将来の交通調査予測により、安全な交通規制を検討する

目玉の取組み

新しい国立市のまちづくりを考える 市民ワークショップ

・各グループからの「市への提言」

- 1 健康・福祉グループ
- 2 子育て・教育グループ
- 3 生涯学習・文化・産業グループ
- 4 防災・防犯・地域コミュニティグループ
- 5 都市基盤グループ
- 6 環境グループ

6. 環境グループ



【主な強み(良いところ, 伸ばしたいところ, 好きなところ)】

市民意識が高く、ごみや吸い殻のポイ捨てが少ない
小さな市内に商店街・学校・農地・自然など、
多様な環境が揃っている



【主な弱み(悪いところ, 改善したいところ, 気になるところ)】

家庭ごみの分別が不徹底で、分別方法の周知も足りない
空き地へのごみの不法投棄が見られる
再生可能エネルギーの普及が不十分である



【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(1 / 3)】

【環境】

(1) 自然エネルギーの活用推進



目玉の取組み

- ★ エコロジーに先進的に取り組むモデル地区をつくり、全国にPRする
 - ◆ 未耕作地で太陽光発電を行い、できた電気は街灯等に利用して啓発を図る
 - ◆ 東京都・NPO・企業等と協同し、南部地域に風力発電装置を設置する
 - ◆ 効果的で最先端のエコロジー政策を行うため、大学や企業にいる専門家の知識を活用する

(2) 環境教育の推進



- ◆ 自然環境の保護発展のため、インターネットや配布資料により情報を地域に広げる努力をする
- ◆ 小学校の環境教育を促進するため、矢川でミニ水車による水力発電を行う
- ◆ 学校や幼稚園・保育園の行事として、古い食用油による石鹼作りを行う
- ◆ 農業の発展と若者の意識啓発のため、農業体験等の機会を提供する

(3) 住環境の向上



- ◆ 空地の不法投棄をなくすため、定期的なパトロールと実態調査をする

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(2 / 3)】

【ごみ処理】

(4)ごみの適正処理の推進



目玉の取組み

- ★ 各家庭で分別するときに困るごみについてアンケートを行い、小冊子にまとめて市民へ配布する(洗剤・油類・溶剤・化粧品・肥料等)
- ◆ ごみの回収場所がはっきりしないため、ワッペンを張るなど分かり易くする
- ◆ 空き家など地域の実情を調べ、各家庭のごみ集積所の区割りを再検討する
- ◆ 燃えないごみを減らすため、汚れたプラスチックはリサイクルできないことを周知し、食材の包装等は燃えるごみに分別する
- ◆ 燃えるごみを減らして資源を有効活用するため、保育園・幼稚園・小中学校で「紙類」ごみを先生が率先して分類する
- ◆ 家庭で生ごみを処理できるキエー口を有効活用するため、普及の方策を担当者だけでなく市全体で検討する
- ◆ キエー口を普及させるため、市がお試し用に無料提供する(集合住宅で使いやすいミニサイズとしたり、効果が大きい夏期に実施するなど工夫する)
- ◆ あるべきごみ処理の方向性を明確にするため、削減の目標や方法を示す

【強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組(3 / 3)】

【ごみ処理(続き)】

(5)再利用・リサイクルの推進



目玉の取組み

- ★ まだ使える物を粗大ごみにしないため、市報やインターネット上に「ゆずりませず」「ゆずってください」のコーナーを設ける
 - ◆ ペットボトルやその蓋の回収率を上げるため、返金システム付きの回収箱を駅やコンビニに設置する
 - ◆ リサイクルを徹底するため、廃油を回収して再利用する仕組みをつくる
 - ◆ 衣料品等を再利用するため、大型リサイクルショップを開設する
 - ◆ 全国に先駆けてリサイクルを推進するため、インターネットの利用やNPO・運送業者との協同により、まだ使える物を他県や海外へ輸送する
 - ◆ 各家庭でキエー口を使ってできた堆肥を活用するため、農家や市外へ提供する仕組みをつくる